

平成29年度「大学の世界展開力強化事業（ロシア）」
ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成：
-主に極東地域の経済発展を目的として-

2022年2月2日

東海大学 語学教育センター
所長・事業責任者
山本 佳男



【事業概要】



ロシア側連携大学

基礎 海外研修 (2~4週間/双方向)
中期・長期交換留学への動機付けとしての海外研修

強化 中期・長期交換留学 (6/12カ月/双方向)
単位取得型留学、グローバルプログラム科目群の受講

健診人材実務者研修 (2~6週間/双方向)
画像診断センター、健診センターでの研修

ダブル・ディグリー・プログラム



東海大学

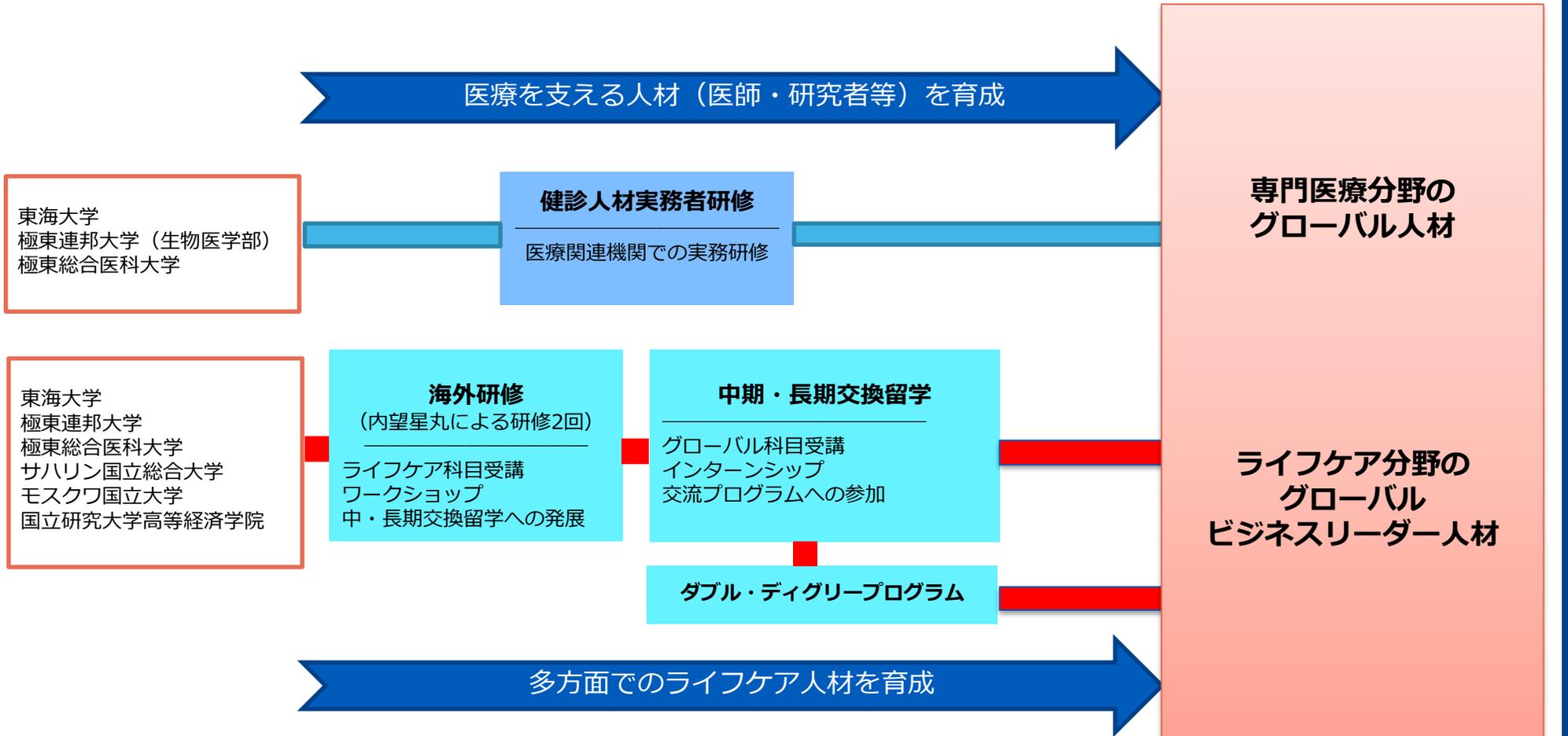
	2017		2018		2019		2020		2021		合計	
	派遣	受入	派遣	受入								
派遣・受入 (合計)	15	15	70	60	30	30	30	30	75	65	220	200
海外研修	13	13	60	50	15	15	15	15	60	50	163	143
中期・長期 交換留学	0	0	5	5	10	10	10	10	10	10	35	35
健診実務者研修	2	2	5	5	5	5	5	5	5	5	22	22

日露間の人的交流の拡大に貢献

交流留学生総数 **420名**

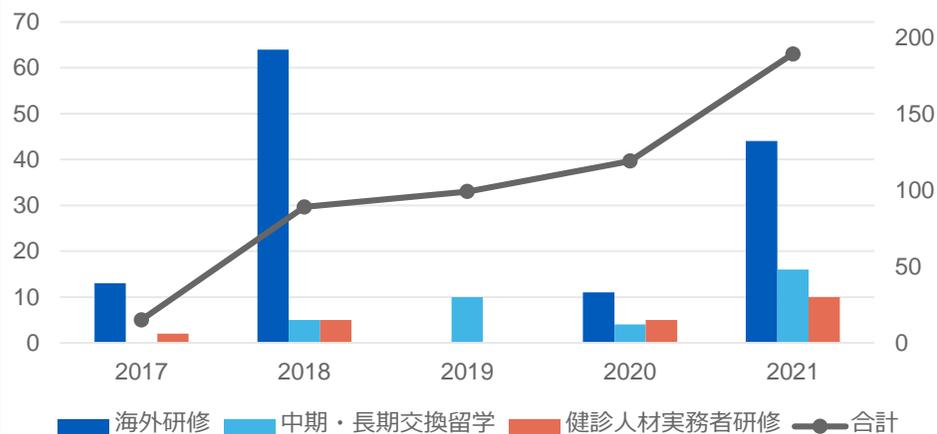
派遣：220名
受入：200名

【ライフケア人材の育成過程】

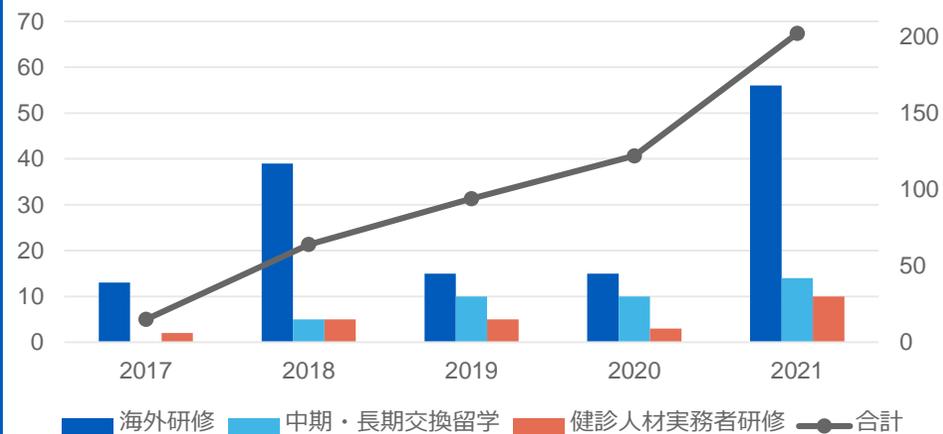


【事業実績（1月28日現在）】

派遣実績（2017-21）



受入実績（2017-21）



	2017		2018		2019		2020		2021		合計	
派遣・受入 (合計)	派遣	受入	派遣	受入								
	15	15	74	49	10	30	20	28	70	80	189	202
海外研修	13	13	64	39	0	15	11	15	44	56	132	138
中期・長期 交換留学	0	0	5	5	10	10	4	10	16	14	35	39
健診実務者研修	2	2	5	5	0	5	5	3	10	10	22	25

オンラインの活用により
順調に推移

交流留学生総数 **391名**

派遣：189名
受入：202名

【主な実績：ウラジオストク航海2018】

航海概要

日 程：2018年8月7日～19日
派 遣：64名（他大学の学生を含む）
受 入：39名
合 計：103名
寄港地：留萌-ウラジオストク-清水（右図参照）

船内研修内容

- ① 学生フォーラム
「日露両国のライフケア：未来への提言」
- ② 教員によるライフケア分野・日露関係の講義
- ③ 交流プログラム他

地上研修内容

- ① ウラジオストク研修(極東連邦大学と連携)
- ② 戸田（日露交流の原点、ディアナ号）
- ③ 伊勢原研修（本学医学部附属病院研修）



【主な実績：スタートアップ・中間報告シンポジウムの開催】

スタートアップシンポジウム

日時：2018年2月14日

会場：東海大学校友会館

日露両国の政府関係者や、ライフケア関連の専門家、企業担当者、本事業参加学生など120名を超える参加者があり、本学の取り組みや本事業について広く発信し、産学の垣根を越えた意見交換、協力体制の構築が図られた。



中間報告シンポジウム

日時：2020年2月18日

会場：東海大学校友会館

ライフケア関連の専門家、企業担当者、本事業参加学生など100名を超える参加者があり、本学の取り組みや本事業の成果について広く発信し、産官学の垣根を越えた意見交換、地域連携・協力体制強化が図られた。



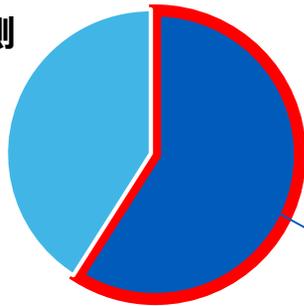
総括シンポジウム (2022年3月実施予定)

【追跡調査の実施】

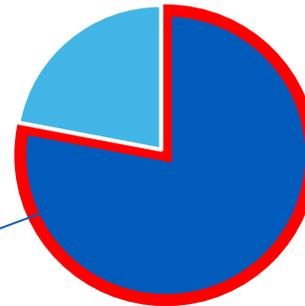
※2017年度からの過去のすべての参加者を対象として実施。(集計期間 2021年12月-2022年1月)

ロシア/日本への関心が向上しましたか

日本側



ロシア側



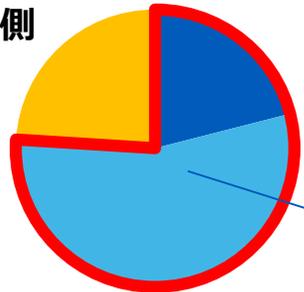
とても上がった

回答概要

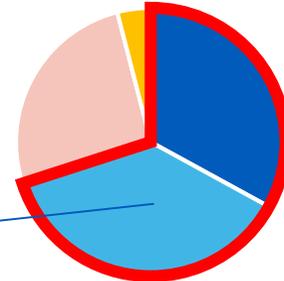
回答数 (日 : 29 / 露 : 27)	
とても上がった	59% / 78%
上がった	41% / 22%
上がらなかった	0% / 0%

プログラムで学んだ知識・スキルは進路に影響を与えましたか

日本側



ロシア側



大きな影響あり
影響あり

回答概要

回答数(日 : 29 / 露 : 27)	
大きな影響	21% / 33%
影響あり	55% / 37%
僅かに影響	0% / 26%
影響なし	24% / 4%

プログラムが進路に与えた影響 (抜粋)

- ・多様な視点、新たな経験が得られ、多角的・客観的に物事を見られるようになった。
- ・さらなるロシア留学につながり、ロシア関連の事業を行う企業への就職につながった。
- ・バイオロジーの研究者志望であったが、日本の臨床医療を学び、新たな治療法の開発に志望を変更した。

【令和3年度 事業スケジュール】

2021年 春学期

函館航海：オンラインへ変更 (実施済み)
 【派遣】19名：本学・国内展開力採択大学
 【受入】31名：ロシア側連携大学



オンラインサマースクール (函館航海)

2021年 秋学期

海外研修：渡航
 【受入】12名：ロシア側連携大学
海外研修：オンライン
 【派遣】25名：極東連邦大学と共同実施
 【受入】25名：極東連邦大学と共同実施

健診人材実務者研修：オンラインへ変更
 【派遣】10名：本学
 【受入】10名：極東連邦大学・極東総合医科大学

各種行事・委員会

- ・シンポジウム：ロシア連携大学と共同実施
- ・ジョブフェア：産学連携事業
- ・留学報告会：(次年度に実施予定)
- ・各種委員会：年度末に実施予定

中期・長期交換留学：渡航とオンライン (実施済み)
 【派遣】16名：本学
 【受入】14名：ロシア側連携大学

